

令和5年度

事業報告書

社会福祉法人 秋田市社会福祉協議会

令和5年度事業報告書

令和5年5月に新型コロナウイルスの感染症法上の位置づけが5類に移行し、見守りネットワーク活動や地域サロンなどの地域福祉活動は徐々に再開され、従来の形での事業に戻りつつあります。

また、令和5年7月の大雨では、秋田市においておよそ6,000棟の浸水被害が発生しました。災害対応により通常業務に支障を来しましたが、会議の書面での開催や事業の実施時期を変更するなど、令和5年度に計画していた事業は概ね実施することが出来ました。

令和5年7月の大雨災害では、秋田市災害ボランティアセンターを設置し、ボランティアニーズの把握とボランティア派遣調整をしました。11月1日に秋田市から「地域支え合いセンター」を受託し、大雨により被災された方の戸別訪問やサロン開催を行い、被災者支援を継続しました。

さらに、令和6年能登半島地震に伴う被災地の復興支援として、本会では、石川県志賀町災害ボランティアセンターへ職員を派遣しました。

個別避難計画の策定については、重度の要介護者や障がい者などの中でも優先度の高い方の計画の策定を秋田市から受託し、対象者への説明や計画の作成、地区関係者への説明を行いました。

生活福祉資金貸付事業では、新型コロナウイルス感染症の影響による特例貸付を利用した世帯へのフォローアップ支援として、償還が困難な世帯に対し生活状況を伺い、場合によって償還猶予や償還免除の相談に応じるなどの生活再建を支援いたしました。

介護事業関連では、介護事業運営の安定化・効率化に努めたところですが、河辺デイサービスセンターについては、利用者の減少や人材確保が困難であることから、令和6年3月末で廃止しました。

秋田市地域福祉アクションプラン2019(秋田市地域福祉活動計画)が最終年度にあたり、新たなアクションプランの策定をする予定でありましたが、相互に連携する計画である秋田市地域福祉計画(行政計画)の策定が1年延期されたことに伴い、本会においても策定を1年延期しました。

なお、令和5年度事業計画に対する取り組みについては、次のとおり報告します。

1 小地域福祉活動の推進

(1) 見守りネットワーク事業 ※（ ）内は前年度実績

- ・各地区社協、地区民児協をはじめとして町内会長、福祉協力員等との連携を図り、地域内の見守りが必要な高齢者世帯等への見守り・声かけ活動や安否確認等を行い、孤立化を予防するとともにニーズや緊急事態の早期発見に努めた。

実施地区	39地区	(39)
------	------	------

- ・「見守りネットワーク事業の手引き」を活用し、見守り体制の充実を図った。
- ・コロナ禍においても感染対策に配慮しながら各地区の創意工夫で取り組んだ。

(2) 安心キット事業（救急医療情報キット事業）

- ・各関係機関や見守りネットワーク事業と連携しながら、安心キット事業の更なる推進を図った。
- ・安心キットの設置世帯数 17,638 世帯（令和4年度末）
- ・安心キットの活用件数 30 件（令和5年1月～12月、秋田市消防本部から情報提供）
- ・市内の郵便局の協力を得て、安心キットの配布や更新の呼びかけの強化を図った。
- ・安心キットの啓発に努めた。（障がい者のためのくらしのしおり、暮らしに役立つサービス、広報あきた等）
- ・事業の円滑な運営等を図ることを目的として推進会議を開催した。

開催日 令和6年2月9日（金） 秋田市老人福祉センター 出席者 18人

案件 安心キット事業の実施状況について
安心キットの活用状況について
今後の課題と方向性について

(3) 車両・除雪・災害関連用品等の貸出 ※（ ）内は前年度実績

- ・地区社協、町内会等の各団体に対して、行事・イベントの開催や買い物支援などのために機器および機材、または福祉車両等を無料で貸し出し、コミュニティ活動および地域福祉活動の活性化、地域住民やボランティア団体等が主体的に地域での支え合い活動に取り組んでいくための体制づくりを支援した。

貸出物品	貸出件数	貸出物品	貸出件数
軽トラック	58件 (35)	ノートパソコン	34件 (33)
リフト付き送迎車	20件 (12)	プロジェクター	103件 (68)
送迎車	75件 (84)	スクリーン	55件 (44)
握力計	14件 (6)	暗幕	7件 (5)
体組成計	4件 (2)	綿菓子機	47件 (21)
足指力計測器	5件 (1)	ポップコーン機	26件 (8)
フロアカーリング	10件 (4)	かき氷機	27件 (14)
スロットボール	17件 (6)	テント	25件 (4)
スマイルボウリング	9件 (6)	ビンゴ	30件 (11)
室内用ペタンク	13件 (11)	ダーツ	5件 (4)
グラウンド・ゴルフ	3件 (10)	発電機	3件 (3)

輪 投 げ	45 件 (11)	除 雪 機	0 件 (2)
カラオケセット	51 件 (31)	融 雪 機 器	0 件 (0)
ワイヤレスアンプ	68 件 (81)	炊 き 出 し 機 器	0 件 (0)
DVD プレイヤー	2 件 (4)	D V D	1 件 (3)

・買い物支援事業の実施状況

	実 施 回 数	利 用 者 延 べ 人 数	ボ ラ ン テ ィ ア 延 べ 人 数
河辺地区社協	22 回 (24)	57 人 (85)	22 人 (24)
雄和地区社協	52 回 (51)	235 人 (235)	52 人 (51)

2 介護予防・交流事業の推進

(1) 地域元気アップ事業 ※ () 内は前年度実績

・地域の高齢者を対象として「地域元気アップ事業」を実施した地区社協に対して助成金を交付し、介護予防や孤立予防の推進を図った。

①健康づくり・生きがいくくり支援事業

助成金交付 39 地区(39) 17,088,000 円(16,140,000)

・軽スポーツ ・趣味活動 ・健康づくり ・交流事業 ・その他

②地域サロン事業

助成金交付 38 地区(38) 2,430,000 円(2,405,000)

(2) 地域サロン強化事業 ※ () 内は前年度実績

・地域サロンのさらなる充実や拡大を図ることや高齢者や障がい者等の傾聴により社会的孤立をより一層予防し、自殺予防対策の一助とした。

助成金交付 31 地区(30) 1,320,000 円(1,350,000)

3 子育て支援の推進

(1) 子育て支援事業 ※ () 内は前年度実績

①子育て支援用おもちゃ貸出事業

貸出件数 47 件 (49)

②子育て講話開催経費助成事業

・地域における子育て活動支援とともに安心して子育てができる環境づくりを目的として、市内の子育てサークルおよび団体が開催する「子育て講話」に要する講師謝礼(交通費を含む)を助成した。

15 団体(13) 延参加者 親 159 人 子 164 人 計 323 人(159)

③子育て支援への助成等

地区社協または地区民児協が行う子育て支援事業に対して助成を行った。

35 地区(32) 700,000 円(640,000)

4 地域での福祉活動への支援

(1) 福祉協力員の設置および活動の推進 ※ () 内は前年度実績

- ・各地区社協の地域福祉活動に協力する町内会単位の福祉協力員設置の推進を図った。

設置地区数	35地区	(35)
福祉協力員数	1,117人	(1,100)

- ・福祉協力員等研修会へ参加し、福祉協力員の活動について啓発した。
4地区で実施 (4)

(2) 地区社協事務担当者研修会の開催

開催日 令和6年2月28日(水)
 会場 秋田キャッスルホテル
 参加者 37地区 75人
 内容 研修 事業内容および事務手続きについて

(3) 地域福祉活動研修会 ※ () 内は前年度実績

開催日 令和6年2月2日(金)
 会場 あきた芸術劇場ミルハス 中ホール
 参加者 地区社協関係者、民生委員・児童委員、町内会長、福祉協力員、
 一般市民等
 約400人 (300)
 内容 秋田市災害ボランティアセンター概要説明
 秋田市社会福祉協議会 地域福祉課 課長補佐 戸島 健人
 事例発表Ⅰ 「築山地区での取り組み」
 発表者 築山地区民生児童委員協議会 会長 鈴木 夏代 氏
 事例発表Ⅱ 「横森地区での取り組み」
 発表者 横森5丁目町内会 会長 武内 仁 氏
 講演 「被災地域での支援活動について」
 講師 一般社団法人ピースポート災害支援センター
 大塩 さやか 氏

(4) 拠点づくり・事務機器整備支援事業 ※ () 内は前年度実績

- ・地区社協の拠点づくりの促進または拠点の強化、地区社協の事務機器の整備を支援するため助成を行った。

拠点づくり	1地区 (2)	100,000円 (200,000)
事務機器整備	5地区 (6)	150,000円 (180,000)
計	6地区 (8)	250,000円 (380,000)

(5) 地区社協各種研修会への支援 ※ () 内は前年度実績

①地区社会福祉協議会研修支援事業

- ・複数の地区社協が合同で実施する研修会の開催経費や地区社協が実施する研修会で移

動に要するバス等の借上げ料の助成を行った。

研修会の開催経費	1地区 (0)	20,000円	(0)
バス等の借上げ料	3地区 (1)	60,000円	(20,000)
計	4地区 (1)	80,000円	(20,000)

②地区社協ブロック研修会への支援

・Aブロック、Cブロックにおいて地区社協役員および事務局員の研修を行う際に、その開催経費の一部を負担し、地域福祉活動についての情報交換、研修活動を支援した。

③地区社協の要望に応じ、研修会等での講話や事業の説明を行い支援した。

6回 6地区

(6) 地区社協活動等への支援と協力 ※ () 内は前年度実績

①「秋田市地区社会福祉協議会連絡会」への活動支援と協力を行った。

②横断幕、垂れ幕、ポスター作成の支援

地区社協	37件	(6)
地区民児協	2件	(19)
町内会	13件	(5)
福祉団体・その他	103件	(71)
計	155件	(101)

③大型印刷機等の利用支援

紙を持参することにより印刷費を無償にし、地区社協、地区民児協、町内会、団体会員の活動を支援した。

印刷実績 291,598枚 (289,835)

④地域福祉活動推進費の助成

39地区(39) 14,402,400円(14,459,200)

(7) 個別避難支援計画の作成【市委託】

・重度の要介護者や障がい者など優先度が高い方の個別避難計画の作成および地区関係者への説明を行った。

①地区関係者への説明

(秋田市地区社会福祉協議会連絡会、飯島地区社協、牛島地区社協、築山民児協、牛島地区民児協、中通地区民児協)

②対象者への訪問および個別避難計画の作成

地区名	作成希望者数	訪問件数	計画作成件数
牛島	2人	2件	1件
築山	1人	1件	0件
中通	2人	2件	1件
計	5人	5件	2件

5 相談支援活動の充実

(1) ふれあい福祉相談センター事業

- ・相談体制 相談員3名(1日2名体制)
- ・開設日数 243日(週5日〔月～金〕、午前9時～午後4時)
- ・相談件数

単位：件

	生	年	職	住	家	結	離	健	医	精	人	財	事	児	教	心	母	老	苦	人	日	ひ	そ	合
	計	金	業	宅	族	婚	婚	康	療	神	権	産	故	童	育	身	子	人	情	間	常	き	の	計
			・	宅	族	婚	婚	衛	療	保	法			福	青	障	父	福		関	生	こ	他	
		業	生	宅	族	婚	婚	生	療	健	律	産	故	社	少	が	子	社	係	活	も	り		
当年度	16	1	25	14	140	0	5	69	39	120	13	8	1	0	0	220	0	66	0	15	360	3	95	1,210
前年度	16	0	26	9	69	0	1	39	19	216	21	7	5	1	0	346	0	45	1	17	238	0	117	1,193

※下記「無料法律相談」の件数は上記相談件数に含まない。

- ・弁護士による無料法律相談 ※()内は前年度実績
毎月第3月曜日 秋田市老人福祉センター(協力：秋田弁護士会) 単位：件

件数	相談内訳						合計
	家庭	金銭	不動産	交通事故	相続	その他	
42(43)	6(6)	4(6)	11(11)	0(0)	16(14)	8(7)	45(44)

※1回に複数の相談内容があったため、件数と相談内訳の合計は異なる。

- ・ふれあい福祉相談センターや弁護士による無料法律相談の開催について広報あきたやホームページへ掲載、関係機関へリーフレットを配布し市民へ周知した。

6 在宅福祉サービス事業

(1) ふれあいさん派遣事業 ※()内は前年度実績

- ・急な病気、ケガ等の時に「ふれあいさん」を派遣し、短期間単発の生活支援をすることにより、介護予防や子育て支援につながった。

①利用状況

実利用者数	87人 (80)	男25人 女62人(男19人 女61人)
延べ利用回数	667回 (731)	月平均 55.6回
利用延べ時間	1,147時間 (1,268)	月平均 95.6時間
利用平均年齢	74.1歳 (74.1)	
稼働日数	229日 (229)	
登録ふれあいさん数	10人 (10)	

②派遣理由

単位：件

内容	病気	退院直後	ケガ	介護者不在	産前産後	その他
件数	220(262)	1(0)	17(25)	0(0)	23(8)	29(24)

③サービス内容

単位：件

内容	買物・調理	洗濯	掃除	世話	外出	見守り	薬取り	沐浴	その他
件数	219(245)	214(219)	127(191)	141(105)	194(198)	29(33)	47(52)	25(26)	60(114)

④他制度へ移行した人数 25人

⑤その他

- ・事業案内のポスターの掲示や電子看板（デジタルサイネージ）放映、広報あきた、ホームページ等により事業のPRに努めた。

(2) 移送車貸出事業 ※（ ）内は前年度実績

- ・障がい者の通院、買い物等のため移送が必要な世帯等に対し、移送車を貸出した。

台数	2台 (2)
登録者数	81人 (62)
利用回数	309回 (298)

(ガソリン代は自己負担)

(3) 見守り機器助成事業 ※（ ）内は前年度実績

- ・在宅で暮らす認知症の方、知的障がい児者、精神障がい者等が道に迷ったり、自分の家がわからなくなる恐れがあるなど、不安を抱える世帯に対し位置情報を把握するための装置、本人が自宅から離れたことを知らせる装置等の利用に伴う購入費用または、レンタル費用の一部を助成対象とした。

助成額 上限 10,000 円

申請件数	3件 (0)	助成件数	3件 (0)	助成額合計	15,200円 (0)
------	--------	------	--------	-------	-------------

- ・位置情報を確認できる各種装置や民間サービスの情報提供を行った。

(4) 福祉機器貸出事業 ※（ ）内は前年度実績

①在宅で福祉機器を要する世帯に対して貸出した。

貸出物品	貸出件数
車いす	105件 (119)
介護用ベッド	3件 (5)
エアマット	5件 (2)
シャワーチェア	4件 (2)

②コミセンや市民サービスセンター等に車いすを設置し貸出を行った。

貸出件数	122件 (172)
------	------------

(5) 秋田市手話通訳者設置事業【市委託】 ※（ ）内は前年度実績

- ・聴覚障がい者等の日常生活および社会生活におけるコミュニケーション手段のため手話通訳者を派遣した。

手話通訳者	1人 (1)
通訳件数	480件 (453)

(6) Re再くるネット（日用品・介護用品の再利用） ※（ ）内は前年度実績

- ・不要になった日用品・福祉機器・ベビー用品等を善意でゆずりたいという物品情報を募り、ホームページやSNSを通じて、生活困窮者を支援する団体・機関へ向けて情報を発信することにより、必要とする市民へ物品を提供した。

ゆずる方登録者数	20人	(51)
ほしい方登録者数	15人	(16)
マッチング件数	12件	(13)

(取り扱った主な物品)
テレビ、冷蔵庫、炊飯器、電子レンジ、ファンヒーター、布団、毛布、マットレスなど

7 健康・生きがいづくりの促進

(1) 秋田市老人福祉センター【市委託】 ※（ ）内は前年度実績

①利用状況

個人利用者	20,557人	男 9,767人 女 10,790人
団体利用者	8,788人	987団体
合計	29,345人	(32,326)
開館日数	296日	(294)
1日平均利用者	102人	(110)

※災害対応による混雑のため1日利用休止した。

②部屋別利用延べ人数

単位：人

図書コーナー	ヘルストロン	娯楽室	浴室	録音室	会議室
1,110(2,021)	10,482(11,846)	2,191(2,353)	16,302(17,500)	318(114)	8,788(10,276)

③高齢者生きがい事業

- ・高齢者の生きがいと健康づくりのため「けやき大学」を開催した。

講座名	科目	回数	参加者延べ人数
趣味・教養	書道ペン習字教室	10回 (10)	138人(158)
	水彩画教室	8回 (0)	116人(0)
健康づくり	太極拳教室	8回 (8)	119人(117)
	心と体の音楽運動教室	4回 (12)	50人(150)
合計		30回 (30)	423人(425)

(2) 秋田市老人いこいの家【市委託】

①利用状況

施設名	八橋	飯島	大森山
利用人数 男	2,506人	10,875人	2,393人
〃 女	3,233人	4,591人	3,722人
〃 子供	—	—	832人
計	5,739人	15,466人	6,947人
前年度	5,396人	16,222人	7,620人
開所日数	297日	297日	297日
一日平均	19.3人	52.1人	23.4人
前年度一日平均	18.2人	54.8人	25.7人

②利用内容

単位：人

		八 橋		飯 島		大森山	
		当年度	前年度	当年度	前年度	当年度	前年度
老 人	会 議 等	1,584	1,323	0	0	17	4
	交流会・同好会等	3,476	3,521	1,248	1,585	2,132	2,083
	入 浴	-	-	7,441	8,351	-	-
	ヘルストロン	-	-	933	603	492	874
	体 育 館	-	-	-	-	3,064	2,995
	いきいきサロン	270	227	119	128	133	135
	そ の 他	409	325	5,725	5,555	328	717
子 供	体 育 館	-	-	-	-	197	187
	子 ども 部 屋	-	-	-	-	584	625
計		5,739	5,396	15,466	16,222	6,947	7,620

③健康相談等

単位：人

	八 橋		飯 島		大森山	
	当年度	前年度	当年度	前年度	当年度	前年度
健康相談	116	60	1,379	1,283	624	820
血圧測定	528	551	1,678	1,537	723	933
処 置	0	0	4	1	2	0
その他の相談	0	0	0	2	0	0

④いきいきサロン

	八 橋		飯 島		大森山		雄和ふれあいプラザ	
	回数	延べ人数	回数	延べ人数	回数	延べ人数	回数	延べ人数
体を動かそうADL体操	7回	208人	3回	34人	3回	39人	2回	15人
タオルを使った健康体操	-	-	3回	43人	3回	40人	1回	7人
秋田民謡手踊り教室	-	-	2回	29人	-	-	-	-
ダンスセラピー ～心と体の音楽運動療法～	2回	62人	1回	13人	3回	54人	1回	5人
山の幸染め教室	-	-	-	-	-	-	1回	5人
貝殻を使った小物入れづくり	-	-	-	-	-	-	1回	5人
ひな祭りアレンジメント教室	-	-	-	-	-	-	1回	8人
羊毛フェルトアート教室	-	-	-	-	-	-	2回	8人
エコクラフトテープ教室	-	-	-	-	-	-	2回	12人
季節の吊るし飾りづくり	-	-	-	-	-	-	1回	16人
合 計	9回	270人	9回	119人	9回	133人	12回	81人
前 年 度	9回	227人	9回	128人	9回	135人	12回	147人

(3) 秋田市雄和ふれあいプラザ【市委託】 ※ () 内は前年度実績

①利用状況

男	599人 (488)
女	1,627人 (1,771)
計	2,226人 (2,259)
一日平均利用者数	9.2人 (9.3)

開 所 日 数	243 日 (244)
---------	-------------

②利用内訳

会 議 等	271 人 (321)
同好会・交流会等	853 人 (947)
いきいきサロン	81 人 (148)
ゆうゆうくらぶ	73 人 (144)
ヘルストロン	518 人 (274)
そ の 他	430 人 (425)

8 ボランティア活動の振興

(1) ボランティアセンター事業【市委託】 ※ () 内は前年度実績

①広報誌の作成および発行

「ぼらんていあ情報」を年4回発行。

②ボランティアニーズの把握を行い、個人ボランティア、団体ボランティアの募集と登録および活動の紹介を行った。

(ア) ボランティア登録数

個 人	104 人 (95)
男	39 人 (35)
女	65 人 (60)
団 体 数	233 団体 (226)
団 体 人 数	4,541 人 (4,582)
男	1,531 人 (1,534)
女	3,010 人 (3,048)
登録者 合計	4,645 人 (4,677)
男 合計	1,570 人 (1,569)
女 合計	3,075 人 (3,108)

(イ) ボランティア活動紹介件数

施 設	27 件 (9)
団 体	17 件 (27)
在 宅	26 件 (14)
自 宅	0 件 (0)
そ の 他	1 件 (4)
合 計	71 件 (54)

③ボランティア養成講座の開催

講 座 名	開催回数	参加人数
チビッコボランティア	9 回 (5)	71 人 (26)
ジュニアボランティア	10 回 (9)	36 人 (28)

④ボランティア活動保険への加入状況

区 分	団体数および人数	備 考
ボランティア	3,059 人 (3,194)	
内 団 体	175 団体 (176) 3,025 人 (3,169)	秋田市負担分 525,175 円
内 個 人	34 人 (25)	
地区社協・地域福祉関係者	2,737 人 (2,813)	秋田市負担分 414,750 円 ボランティア基金 414,750 円 社協会費充当 128,450 円
災害ボランティア (市外)	48 人 (1)	
災害ボランティア (市内)	79 人 (14)	秋田市負担分 15,700 円 ボランティア基金 1,400 円
災害ボランティア (大雨災害)	3,714 人 (0)	秋田市負担分 1,299,900 円

除 雪		464 人 (522)		
内 訳	団 体	19 団体 (15)	421 人 (454)	秋田市負担分 154,000 円 社協会費充当 8,400 円
	個 人		19 人 (22)	
	町内会	5 町内 (8)	24 人 (46)	
合 計		10,101 人 (6,544)		秋田市負担分 2,409,525 円 ボランティア基金 416,150 円 社協会費充当 136,850 円

⑤ボランティア活動に関する情報収集や情報整理を行った。

⑥福祉施設、関係機関との連携

介護支援ボランティア制度と連動し、福祉施設との連携を図った。また、高齢者疑似体験等の貸出や講師派遣を行い関係機関との連携を深めた。

⑦ボランティアセンター運用システムにより、ボランティアセンターの機能の強化を図った。

⑧災害ボランティアセンター閉所後の被災者への支援（10月17日～10月31日）

ボランティア活動日数および活動者数 4日、（延べ）59人

※11月1日より地域支え合いセンターで対応

（2）介護支援ボランティア制度の運営【市委託】 ※（ ）内は前年度実績

①制度の広報、啓発

- ・秋田駅東西連絡自由通路（ぼぼろード）へポスターを掲示し市民への啓発を行った。
- ・登録講習会の開催を周知するため、リーフレットを作成し関係機関等へ配布した。

②登録講習会 11回開催（10）参加者62人（47）男14人（10）女48人（37）

③登録状況

	男	女	計
新規登録者数	8 人 (7)	35 人 (25)	43 人 (32)
登録抹消者数	23 人 (22)	54 人 (65)	77 人 (87)
期末の登録者数	71 人 (86)	253 人 (272)	324 人 (358)

④指定受入機関数

介護保険施設等	113 施設 (117)
放課後児童クラブ・児童館・児童センター	49 施設 (50)
秋田市立図書館	5 施設 (5)
認知症カフェ	3 施設 (0)
子ども食堂	1 施設 (0)
計	171 施設 (172)

⑤（ア）令和6年3月の実活動者数

174人（101）男33人（15）女141人（86）

（イ）年間延べ活動時間 11,489時間（8,571）

⑥ポイント活用申請の状況

ポイント申請者数	194 人 (168)	
申請ポイント数	6,760 P (5,580)	
換金ポイント数	6,460 P (5,280)	※1P=100円
寄付ポイント数	300 P (210)	※市社協への寄付 8人（7）

⑦介護支援ボランティアを対象とした研修会を開催した。

開催日 令和6年2月22日(水) 秋田県生涯学習センター 参加者 88人

内容 実施状況と活動の様子紹介

ボランティア活動紹介

認知症カフェ ・Café 月ゆえ/Café 月ゆえ～別邸～ 佐藤 さつき 氏

・若年認知症サロン「つぼみの会」 柏原 喜世子 氏

講演 『認知症の方との関わり方について』

講師 八橋地域包括支援センター社協 管理者 長谷川 淑子 氏

保健師 沼田 未来夢 氏

(3) 除雪支援の実施 ※ () 内は前年度実績

- ・除雪ボランティアとの連携による除雪活動

除雪支援相談件数 6件 (20)

活動件数 5件 (15) ボランティア対応 4件 (11) その他の対応 1件 (4)

- ・除雪ボランティア登録状況

	団体数	登録人数
団体	17団体 (18)	451人 (470)
個人	—	26人 (26)
計	17団体 (18)	477人 (496)

- ・除雪機器等の貸出

※2、3 ページ「車両・除雪・災害関連用品等の貸出」参照

- ・除雪ボランティア等へのボランティア保険料の補助

※10、11 ページ「ボランティア活動保険への加入状況」参照

(4) 災害ボランティアセンターの体制整備

- ・令和5年大雨災害において、災害ボランティアセンターを設置するにあたり、秋田市と協議して「災害救助法に基づく救助と災害ボランティア活動との調整に関する業務委託契約」を締結した。(委託期間：令和5年7月17日～令和5年10月16日)

※災害ボランティアセンターの活動状況については、25、26 ページ「大雨災害への対応」参照

(5) ボランティア活動への支援

- ①ボランティア団体への器具・機材等の貸出

※2、3 ページ「車両・除雪・災害関連用品等の貸出」参照

- ②ボランティア活動保険への加入促進

※10、11 ページ「ボランティア活動保険への加入状況」参照

(6) ボランティア基金の運営

- ・秋田市ボランティア基金の運用益をボランティア団体の行う事業等に対し助成金を交付した。

- ①基金の状況 令和6年3月末現在

基金	123,679,000円
----	--------------

②運用益の配分

事業助成	高齢者・障がい者（児）・児童等へのボランティア活動	1件	148,000円
	ボランティアの養成や啓発のための研修会・交流会	6件	547,000円
	災害に関わるボランティア活動	0件	0円
活動振興事業	市社協・ボランティアセンター事業（ボランティア保険）	1件	416,150円
合 計		8件	1,111,150円

(7) 秋田市ボランティア連絡協議会への協力

- ・事務局へ協力し、ボランティア活動をしている個人・団体および関連団体の連絡調整、情報交換を支援した。

9 自立生活支援関連事業

(1) 秋田市権利擁護センター事業 ※（ ）内は前年度実績

- ・認知症高齢者や知的障がい者、精神障がい者など日常生活上の判断に不安のある方が、住み慣れた地域で自分らしい暮らしが実現できるよう、成年後見制度の利用促進と地域連携の推進を図り、権利擁護を必要とする人を確実に支援に結び付けることができるよう努めた。

①成年後見制度利用促進事業【市委託】

(ア) 広報機能

- ・市民向けセミナーの実施 1回 (2)、出前講座実施 14回 (15)
- ・関係機関へのリーフレット配布、ホームページやフェイスブックの更新に努めた。
- ・デジタルサイネージにより事業のPRに努めた。

(イ) 相談機能

【相談対応状況】

対象者	延べ相談件数
認知症高齢者	844件 (986)
知的障がい者	88件 (185)
精神障がい者	305件 (333)
一般高齢者	286件 (197)
その他（身体障がい者含む）	109件 (60)
合 計	1,632件 (1,761)

相談内容	延べ相談件数
成年後見制度に関すること	1,204件 (1,123)
日常生活自立支援事業に関すること	153件 (178)

権利擁護支援全般に関すること	159 件	(354)
その他	80 件	(106)
合 計	1,632 件	(1,761)

【支援状況】

- ・成年後見制度申立支援 38 件 (32)
 - (ウ) 成年後見制度利用促進機能
 - ・日常生活自立支援事業からの移行 1 件 (6)
 - ・地域連携ネットワークに関する取り組み
成年後見制度利用支援検討会の開催 1 回 (1)
 - (エ) 後見人支援機能
 - ・後見人等（チーム員を含む）からの相談 13 件
- ②法人後見事業
- ・法人後見運営委員会の開催 3 回 (3)

【受任状況】

類型	後見	保佐	補助	計
新規受任件数	0 件 (2)	2 件 (2)	0 件 (0)	2 件 (4)
受任件数 (3 月末現在)	2 件 (2)	4 件 (2)	0 件 (0)	6 件 (4)

③日常生活自立支援事業【県社協委託】

- ・秋田市権利擁護センター事業と一体的に実施し、日常的金銭管理や書類等の預かりサービス、福祉サービスの利用援助などを行い、判断能力に不安のある高齢者や障がい者を支援した。

(ア) 相談援助・契約件数

単位：件

	相談援助件数	契約件数	新規契約件数	解約件数※
認知症高齢者等	1,472 (1,844)	28 (29)	6 (7)	7 (10)
知的障がい者	676 (391)	9 (8)	2 (1)	1 (0)
精神障がい者	1,519 (1,545)	16 (18)	4 (4)	6 (4)
その他	16 (1)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
合 計	3,683 (3,781)	53 (55)	12 (12)	14 (14)

- ※解約の内訳（理由）
- ・本人からの申し出による解約 7 件 (6)
 - ・成年後見人等選任による解約 2 件 (6)
 - ・本人死亡による解約 5 件 (2)

(イ) その他

- ・契約締結審査会への出席 10 回(9)
- ・生活支援員研修会への参加 参加者 8 名(11)
- ・生活支援員 14 名(14) 活動回数 801 回(810)

(3) 市民小口資金の貸付および償還指導等の実施 ※ () 内は前年度実績

- ・市から 400 万円の原資を借り入れ、一時的に生活に困っている方に対して限度額 6 万円まで貸付した。(貸付期間 12 カ月以内・無利子)

①市民小口資金の新規貸付状況

区 分	件 数	金 額
一般（社協受付）	6件 (4)	330,000円 (200,000)
被 保 護 者 等	99件 (91)	1,255,000円 (1,606,000)
保護課経由	97件 (91)	1,165,000円 (1,606,000)
自立支援経由	2件 (0)	90,000円 (0)
合 計	105件 (95)	1,585,000円 (1,806,000)

②市民小口資金の償還状況

単位 件数：件 金額：円

区 分	現 年 度		過 年 度		計	
	件数	金 額	件数	金 額	件数	金 額
一般(社協)	6 (4)	250,000 (120,000)	11 (28)	161,000 (553,506)	17 (32)	411,000 (673,506)
被保護者等	85 (84)	962,000 (1,211,000)	33 (35)	476,000 (412,500)	118 (119)	1,438,000 (1,623,500)
保護	83 (84)	892,000 (1,211,000)	32 (31)	466,000 (373,500)	115 (115)	1,358,000 (1,584,500)
自立	2 (0)	70,000 (0)	1 (4)	10,000 (39,000)	3 (4)	80,000 (39,000)
計	91 (88)	1,212,000 (1,331,000)	44 (63)	637,000 (966,006)	135 (151)	1,849,000 (2,297,006)

③市民小口資金の完済、未完済の状況

単位 件数：件 金額：円

区 分	現 年 度		過 年 度		計	
	件数	金 額	件数	金 額	件数	金 額
完済	83 (72)	1,042,000 (1,012,000)	33 (40)	549,000 (712,006)	116 (112)	1,591,000 (1,724,006)
未完済	22 (23)	373,000 (475,000)	273 (295)	5,862,500 (6,186,500)	295 (318)	6,235,500 (6,661,500)

④督促状送付

12月送付 295件

⑤不能欠損

平成24年度分 13件 162,000円

(4) 生活福祉資金等貸付事業【県社協委託】

※ () 内は前年度実績

①相談受付状況

資金の種類	件 数
総合支援資金	102件 (129)
福祉資金	2,450件 (3,199)
教育支援資金	478件 (721)
不動産担保型生活資金	86件 (93)
計	3,116件 (4,142)

②生活福祉資金の貸付状況

資金の種類		件 数	金 額
総合支援資金	生活支援費	0件 (1)	0円 (540,000)
	住宅入居費	0件 (0)	0円 (0)
	一時生活再建費	0件 (0)	0円 (0)
福祉資金	福祉費	4件 (2)	2,415,000円 (172,990)
	緊急小口資金	17件 (19)	1,600,000円 (1,721,000)
教育支援資金	教育支援費	9件 (12)	15,960,000円 (22,938,800)
	就学支度費	9件 (14)	3,142,000円 (5,322,000)
不動産担保型	不動産担保型生活資金	0件 (0)	0円 (0)

生活資金	要保護世帯向不動産担保型生活資金	0件 (0)	0円 (0)
計		39件 (48)	23,117,000円 (30,694,790)

③臨時特例つなぎ資金の貸付状況

資金の種類	件数	金額
臨時特例つなぎ資金	0件 (0)	0円 (0)

④事務局審査

25回（資金の借入れ、償還猶予、償還免除の各種申込みに伴う審査）

⑤生活困窮者自立支援事業との連携

市福祉事務所が開催する支援調整会議への出席 8回

⑥督促状送付

6月、12月送付 1,932件 (1,443)

⑦広報あきたやホームページ等に貸付事業について掲載し啓発に努めた。

⑧新型コロナウイルス感染症の影響による生活福祉資金特例貸付フォローアップ支援実施状況

単位：件

内 容	件 数	内 訳		
		電 話	来 所	訪 問
償還免除	45	31	14	0
償還猶予	118	86	31	1
その他	130	117	13	0
関係機関との調整	5	5	0	0
計	298	239	58	1

(5) 生活困窮者への食支援 ※（ ）内は前年度実績

①緊急食支援事業

市民小口資金等へ該当しなかった方や制度申請中の方で、その日の食事のままならない方々に対して食料品の支給と思い立った時に相談できるよう専門相談機関の一覧を配布した。また、年末年始に秋田市役所へ食料品を配備して対応した。

支援対象数 81件(87) 120名(135)

②フードドライブへの協力

家庭で余剰な食べ物を秋田市老人福祉センター内の食品回収箱に持ち寄ってもらい、それらをフードバンクあきたへ受け渡しした。

受け渡し状況 米、乾麺、飲料、缶詰、お菓子など 計1,782点(2,078)

③コープフードバンク事業

生活困窮などにより食品等を必要としている団体や個人を把握したときに、コープフードバンク（コープ東北サンネット事業連合）から必要なものを無償提供してもらう事業に協力する体制とした。

(6) 生活困窮者への生活用品の支給等による支援

- ・各地域包括支援センターと連携を図り、生活に困窮している世帯に食料品、衣類、おむつ、灯油などの支援を行った。

支援世帯 11世帯 54,280円

- ・寄付された玄米を精米し、生活困窮者へ配布した。

(7) 罹災世帯への見舞金支給

- ・罹災世帯に対して見舞金を支給した。

罹災区分	罹災世帯	見舞金額
全焼件数	4件	80,000円
半焼件数	1件	10,000円
床上浸水件数	3,587件	10,761,000円
計	3,592件	10,851,000円
前年度	6件	110,000円

10 福祉啓発・情報提供の充実

(1) 広報活動 ※ () 内は前年度実績

① 広報誌の発行

- ・「社協だより」を発行し、全戸へ配布した。

発行回数	発行部数
1回 (1)	114,000部 (114,000)

- ・「耳より info」を発行し、地区社協、地区民児協、市民センター、コミセンへ配布した。

発行回数	発行部数
1回 (1)	2,500部 (2,500)

② ホームページの運用

- ・秋田市社協のホームページの更新頻度を上げ、内容の充実を図るとともに事業等の「見える化」に努めた。
- ・アクセス件数 157,207件 (60,677) (ホームページアドレス <https://www.akita-city-shakyo.jp/>)

③ SNS の運用

- ・X (旧ツイッター)、フェイスブックにおいて随時情報発信した。

(2) 社会福祉大会の開催

開催日	令和5年12月1日 (金)
会場	あきた芸術劇場ミルハス 大ホール
参加者	地区社協関係者、民生委員・児童委員、町内会長、福祉協力員、婦人会 会員、福祉団体関係者 約500人
テーマ	「広げよう 命を守る 地域の絆」
内容	式典、福祉功労者の表彰 講演 「災害ボランティアの重要性と地域で進める災害の備え」 ウェザーハート災害福祉事務所代表 山形県自主防災アドバイザー 千川原 公彦 氏

(3) 福祉教育の推進 ※ () 内は前年度実績

- ・職場体験学習の受入れ 中学校 2校 (0) 9名 (0)
- ・バリアフリー教室への協力 小学校 7校 (6) 566名 (139)
- ・機材の貸出状況

	貸出件数	延べ数
車 い す	18件 (12)	125台 (73)
高齢者疑似体験セット	7件 (7)	40台 (38)
視覚障がい者体験グラス	8件 (8)	56台 (56)
アイマスク	10件 (9)	260枚 (234)

(4) 地域福祉フェア

- ・地域福祉フェアで展示したパネルを基に冊子作成に取り組んだ。

1.1 介護保険等事業の充実

(1) ホームヘルパー事業

①利用状況

	障害者 総合支援	介護保険							計	前年度
		要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5		
延べ人数	351	356	467	680	288	147	13	1	2,303	2,506
延べ利用回数	3,405	1,625	2,809	5,272	3,811	2,998	162	3	20,085	22,566

②人員体制 (3月末現在)

常勤	非常勤	登録	計	前年度
16	3	28	47	54

③ガイドヘルパー数

登録数
2

(2) 居宅介護支援事業

①利用状況

		要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計	前年度
秋田	延べ人数	315	413	1,043	782	429	309	92	3,534	3,659
	月平均	26.3	34.4	86.9	65.2	35.8	25.8	7.7	294.5	304.9
河辺	延べ人数	121	277	897	502	398	353	104	2,662	2,687
	月平均	10.1	23.1	74.8	41.8	33.2	29.4	8.7	221.8	223.9

②人員体制 (3月末現在)

秋田 主任ケアマネジャー 5人、ケアマネジャー 5人 計10人
 河辺 主任ケアマネジャー 5人、ケアマネジャー 2人 計7人

③実習生受入状況

秋田：2人 (介護支援専門員実務研修、日本赤十字秋田看護大学)
 河辺：1人 (介護支援専門員実務研修)

(3) 通所介護事業

①利用状況

		要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計	前年度
河辺	実人員	0	26	106	108	41	34	11	326	448
	延べ利用回数	0	249	841	1,336	445	250	187	3,308	3,895
八橋	実人員	73	112	330	298	71	34	35	953	1,012
	延べ利用回数	332	805	2,324	2,184	651	215	234	6,745	7,143

②人員体制 (3月末現在)

河辺 生活相談員 1人、看護師 2人、介護員 5人、調理員 1人 計 9人
 八橋 生活相談員 1人、看護師 3人、介護員 9人 計 13人

③実習生受入状況

八橋デイサービスセンター：19人 (秋田市医師会立秋田看護学校)

④河辺デイサービスセンターの廃止

令和6年3月31日をもって事業を廃止した。

(4) 秋田市地域包括支援センター運営事業

①活動状況

単位：件

	総合 相談	権利 擁護	ケア 会議	申請 代行	地域 連携等	予防 プラン	内プラン の委託
八橋	1,119	252	7	314	45	3,295	1,940
河辺	635	33	4	206	62	1,380	766
川元	1,331	54	6	223	38	2,167	1,612

②人員体制 (3月末現在)

八橋 主任ケアマネジャー 2人、保健師・看護師 2人、社会福祉士 1人、
認知症地域支援推進員 1人 計6人

河辺 主任ケアマネジャー 1人、保健師 1人、社会福祉士 1人、
認知症地域支援推進員 1人 計4人

川元 主任ケアマネジャー 1人、看護師 1人、社会福祉士 1人、
認知症地域支援推進員 1人 計4人

③広報啓発

- ・広報紙の発行 (八橋3回、河辺1回、川元2回)
- ・ホームページにより情報発信

④実習生受入状況

八橋 15人
(秋田大学医学部保健学科、秋田市医師会立秋田看護学校、日本赤十字秋田看護大学)

河辺 4人
(日本赤十字秋田看護大学)

川元 8人
(秋田大学医学部保健学科、秋田市医師会立秋田看護学校、日本赤十字秋田看護大学)

⑤認知症サポーター養成講座への講師派遣

八橋 5事業所 参加人数 104人 (学校2回、介護セミナー2回、市民向け1回)

河辺 2事業所 参加人数 59人 (企業1回、市民向け1回)

川元 3事業所 参加人数 135人 (学校2回、市民向け1回)

⑥認知症予防事業等

- ・認知症カフェ等の開催および支援
 - 八橋 「カフェ月 (ゆえ)」
「クッキングカフェ」
 - 河辺 「ニコニコ笑顔で介護予防～わらびツアーへご招待！」を東圏域4包括合同
で開催 参加人数3人
「お元気カフェ」の開催 参加人数22人
 - 川元 「笑顔カフェ」、「出張カフェ月 (ゆえ)」、「クッキングカフェ」、
「聖徳会わいわいカフェ」
- ・アタマとカラダの健康教室
 - 八橋 8回 延べ参加人数 62人
 - 河辺 8回 延べ参加人数 118人
 - 川元 8回 延べ参加人数 82人
- ・その他
 - 八橋 ・住民や事業所等の6か所に認知症等に関する講話を実施した。

- 河辺
 - ・住民や事業所等の10か所に認知症等に関する講話を実施した。
 - ・秋田東警察署と合同で、東圏域高齢者見守りネットワーク協力事業所を対象に声掛け模擬訓練を行った。
- 川元
 - ・住民や事業所等の4か所に認知症等に関する講話を実施した。
 - ・秋田中央警察署生活安全課と合同で、スーパーマーケットにおいて特殊詐欺等の防犯・予防啓発を目的としたチラシを配布した。

(5) 秋田市高齢者生活支援体制整備事業

八橋・河辺・川元の地域包括支援センター圏域において、生活支援コーディネーター1名を配置して、生活支援サービスの担い手の養成・発掘等の地域資源の開発やネットワーク化を行った。

①協議体の開催

- 八橋
 - ・八橋高齢者ささえ愛協議会 3回
 - ・旭北高齢者ささえ愛協議会 3回
- 河辺
 - ・ささえ愛せせらぎ協議会 4回
- 川元
 - ・川元包括圏域きずな会 5回

②広報紙の発行 ※各圏域に配布

- 八橋 3回 31,000部
- 河辺 3回 7,800部
- 川元 2回 15,000部

③居場所づくりの支援

- 八橋
 - ・認知症カフェ 21回
 - ・地域や町内会単位の集いの場 6町内 4団体 計25回
- 河辺
 - ・集いの場 2団体
 - ・町内サロン 6町内
- 川元
 - ・茨島あけぼの町内健康YOGA(通所B) 29回
 - ・茨島あけぼの月2サロン 4回
 - ・旭南映画の集い 12回
 - ・旭南集いの会 49回
 - ・川尻コミセン月イチサロン 4回

④その他

- 八橋
 - ・八橋県営イサノ団地に買い物支援で「とくし丸(移動販売車)」をマッチング
- 河辺
 - ・町内会サロン、民生児童委員、関係団体に生活支援についての説明や講話、情報交換等
 - ・移動支援立ち上げへの支援 2団体
 - ・東圏域協議体合同研修会開催
- 川元
 - ・各種講話の開催 12回 延べ参加人数125人
 - ・地域団体の会合やイベント等への出席 10回

1 2 連携による推進支援

(1) 市民児協との連携

- ・市民児協と共催で秋田市社会福祉大会を開催した。
- ・市民児協と連携のもと、見守りネットワーク事業を実施し、地域福祉の充実を図った。
- ・市民児協理事会等において除雪支援等の説明を行った。
- ・「市社協・市民児協の正副会長の懇話会」を開催した。(令和5年10月25日)

(2) 秋田市地域包括・在宅介護支援センター連絡協議会への協力

- ①事務局への協力
- ②ホームページ運用への協力

(3) 社会福祉法人・福祉施設等との連携

①「秋田市地域福祉おむすびネット」の実施

- ・地域における公益的な取り組みメニューを提示した「秋田市地域福祉おむすびネット」により、社会福祉法人と連携し、地域の課題解決と地域福祉力の強化に努めた。

登録法人	14法人(14)
メニュー選択	68施設(59)

※取組内容：安心キット事業への協力、ボランティア受入、講座等への専門職派遣、災害時支援など。

②秋田市内社会福祉事業従事者スポーツ大会および合同交流会

- ・秋田市内社会福祉事業従事者スポーツ大会実行委員会を開催した。
開催日 令和5年6月23日(金)、11月17日(金)
- ・秋田市内社会福祉事業従事者スポーツ大会を開催し、福祉意識の高揚と連携を図った。
開催日 令和5年9月14日(木)、9月25日(月) 参加者延べ人数207人
- ・合同交流会については、各施設の意見を踏まえ、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から中止とした。

③秋田市老人福祉施設連絡協議会への協力

- ・事務局への協力

1 3 組織運営と財政基盤の強化

(1) 理事会、評議員会等の開催 ※ () 内は前年度実績

会議名	回数	開催日	案件
正副会長会	3回(3)	令和5年5月19日	監事会、理事会、評議員選任・解任委員会、定時評議員会の案件
		令和5年8月10日	災害対応について
		令和6年3月14日	理事会、評議員会の開催および案件
監事会	1回(1)	令和5年5月25日	令和4年度事業報告および収支決算、財産

			目録、貸借対照表および収支計算書監査
理 事 会	4 回(2)	令和 5 年 6 月 6 日	令和 4 年度事業報告および収支決算、理事および監事候補者の選任、職員就業規則・職員給与規程の一部改正、福祉サービスに係る苦情解決事業の第三者委員の選任、評議員選任・解任委員会の開催並びに評議員選任候補者の推薦、定時評議員会の招集等
		令和 5 年 7 月 6 日	会長、副会長、常務理事、顧問の選任
		令和 5 年 10 月 5 日 (決議の省略)	河辺デイサービスセンター・運営規程の廃止
		令和 6 年 3 月 21 日	経理規程の一部改正、令和 5 年度資金収支第 1 次補正予算(案)、秋田市から市民小口資金貸付原資を借入する件、職員給与規程の一部改正、ホームヘルパー事業所運営規程の一部改正、居宅介護・重度訪問介護・同行援護運営規程の一部改正、八橋デイサービスセンター・居宅介護支援秋田事業所・河辺事業所・八橋・川元・河辺地域包括支援センター運営規程の一部改正、役員等賠償責任保険契約の締結、令和 6 年度事業計画(案)および資金収支予算(案)、評議員会の招集等
評 議 員 会	2 回(2)	令和 5 年 6 月 27 日	令和 4 年度事業報告および収支決算の承認、理事および監事の選任
		令和 6 年 3 月 29 日	令和 5 年度資金収支第 1 次補正予算(案)、令和 6 年度事業計画(案)および資金収支予算(案)

(2) 委員会等の開催

- ①「秋田市地域福祉活動計画策定委員会」の開催(令和 5 年 7 月 14 日、11 月 24 日)
- ②「ボランティア基金管理運営委員会」の開催(令和 5 年 7 月 12 日)
- ③「表彰者審査委員会」の開催(令和 5 年 10 月 25 日)
- ④「評議員選任・解任委員会」の開催(令和 5 年 6 月 16 日)
- ⑤「法人後見運営委員会」の開催(令和 5 年 4 月 17 日、12 月 21 日、令和 6 年 2 月 27 日)

(3) 組織運営体制の強化

- ①諸規程の改正を行い、運営体制の整備を図った。
- ②地域支え合いセンターの実施とあわせて、重層的支援体制整備事業やコミュニティソーシャルワーカー(CSW)の配置について市と協議した。

1 4 財源の確保

(1) 会員加入の促進

ア 一般会員の状況 (3月末現在)

39地区 90,015世帯 × 360円 = 32,405,400円

(※前年度実績 39地区 90,370世帯 × 360円 = 32,533,200円)

イ 特別会員の状況 (3月末現在)

単位 会費：円

区分	会員数	口数	会費	前年度			
				会員数	口数	会費	
個人	地区社協役員	294名	294口	294,000	294名	294口	294,000
	民生委員・児童委員	717名	717口	717,000	717名	717口	717,000
	福祉施設職員	46名	50口	50,000	36名	46口	46,000
	一般市民	15名	18口	18,000	24名	36口	36,000
	市・社協職員	209名	211口	211,000	224名	225口	225,000
小計	1,281名	1,290口	1,290,000	1,295名	1,318口	1,318,000	
団体	地区社協	39団体	39口	195,000	39団体	39口	195,000
	社会福祉事業施設	45団体	54口	108,000	53団体	66口	132,000
	社会福祉団体	33団体	39口	78,000	36団体	41口	82,000
	企業・法人	23団体	23口	230,000	28団体	28口	280,000
小計	140団体	155口	611,000	156団体	174口	689,000	
合計	—	1,445口	1,901,000	—	1,492口	2,007,000	

(2) 共同募金への協力

①共同募金の助成を受けて事業を行っていることをPRし、市民の意識の高揚を図った。

②秋田市共同募金委員会事務局へ協力し、地域福祉活動のための財源確保に努めた。

(3) 善意銀行の運営 ※ () 内は前年度実績

①市民の善意で預託された一般寄付金や指定寄付金等は、本会事業の目的とする事業へ充当した。(福祉機器貸出事業、生活困窮者への生活用品の支給等による支援)

そのほか、交通災害遺児激励金、大雨災害寄付金等については指定された事業等へ充当した。

一般寄付金	篤志寄付	27件 (33)	1,041,104円 (863,333)	
	香典返し	1件 (4)	5,000円 (310,000)	
	計	28件 (37)	1,046,104円 (1,173,333)	
指定寄付金	一円玉寄付金	1件 (1)	16,000円 (24,000)	交通災害遺児激励金に充当
	大雨災害寄付金	50件 (0)	5,815,046円 (0)	大雨災害支援に充当
	その他指定寄付金	2件 (4)	331,300円 (244,672)	
	計	53件 (5)	6,162,346円 (268,672)	
合計		81件 (42)	7,208,450円 (1,442,005)	

②一般寄付（企業・団体・個人からの寄付物品）

ぬり絵、雑貨、文房具、BOXティッシュ、コンサート・イベントチケット、生活用品、手作りお手玉、お菓子詰合せ、カレンダー、卓上カレンダー、手帳、非常用食品、車いす、人参、米、紙おむつ、下着、テディベア、マスク、フラワーアレンジメント 等

③大雨災害への寄付（企業・団体・個人からの寄付物品）

サーキュレーター、電源コード、ゴム手袋、オイル吸着パッド、ウエス、一輪車、スコップ、バケツ、軍手、防塵マスク、飲料、パン、タオル、石油ファンヒーター・ストーブ、毛布 等

(4) 基金および積立金の運用

- ・国債等により運用した。(ボランティア基金積立資産、福祉事業基金積立資産、居宅介護等積立資産)

1 5 役職員の資質の向上と派遣

(1) 役職員研修

- ・役職員が秋田県社会福祉大会の講演会（秋田市）へ参加し、研修した。
- ・研修計画に基づき、職員研修の機会を設け、資質の向上と自己研鑽のため職員の育成に努めた。
- ・新人職員に対して研修を実施した。
- ・内部研修を実施した。

(2) 研修会への参加

- ・職員の資質向上のため各種研修会へ職員参加（オンラインも含む。）

(3) 役職員派遣

- ・地区、団体等の要請により役職員を講師派遣および行事へ派遣した。

1 6 秋田市地域福祉活動計画の策定

(1) 秋田市地域福祉アクションプラン（秋田市地域福祉活動計画）の策定

- ・秋田市（行政）において秋田市地域福祉計画の策定が1年延期されたことに伴い、相互に連携している計画であることから、本会においても策定を1年延期した。また、秋田市地域福祉活動計画策定委員の任期も同様に1年延長とした。

1 7 その他

(1) 秋田市河辺総合福祉交流センター管理事業【市委託】 ※（ ）内は前年度実績

- ・利用状況

内容	会議室等					屋外
	福祉関係	保健関係	社会・教育	その他	合計	グラウンド ゴルフ
件数	313 (246)	9 (10)	76 (44)	359 (3)	757 (303)	56 (43)
人数	4,934 (3,630)	742 (823)	1,428 (941)	5,401 (684)	12,505 (6,078)	2,828 (3,342)

(2) 大雨災害への対応

①令和5年7月の大雨により、「秋田市災害ボランティアセンター」を設置し、ボランティアニーズの把握や災害ボランティアの受け入れ等を行った。

(ア) 災害ボランティアセンター

- ・設置期間 令和5年7月17日～10月16日
- ・設置場所 秋田市老人福祉センター

(イ) サテライトの設置 令和5年7月22日～

- ・北部サテライト〔ナイス外旭川店敷地内〕(北部のニーズ些少のため休止)
- ・東部サテライト〔ナイス山手台店敷地内〕(～7月24日)
- ・南部サテライト〔ナイス仁井田南店敷地内〕(～7月30日)

(ウ) ニーズ把握のための戸別訪問(ローラー調査)の実施 約15,000世帯

(エ) ボランティア活動件数 (延べ) 1,465件

(オ) 主な活動内容 畳・家財等の運び出し、災害ごみの仕分け・搬出、清掃、床下確認、屋外(小屋・物置等)の片付け等

(カ) ボランティア活動者数 (延べ) 6,193人

(キ) 災害ボランティアセンターへの職員派遣等

・県内社協 16社協 延べ472人

秋田県社協、能代市社協、横手市社協、大館市社協、男鹿市社協、湯沢市社協、由利本荘市社協、潟上市社協、大仙市社協、北秋田市社協、にかほ市社協、仙北市社協、小坂町社協、藤里町社協、美郷町社協、羽後町社協

・県外社協 40社協 延べ679人

〔北海道〕北海道社協、札幌市社協

〔青森〕青森県社協、平内町社協、鱒ヶ沢町社協

〔岩手〕岩手県社協、盛岡市社協、宮古市社協、大船渡市社協、奥州市社協、一関市社協、陸前高田市社協、釜石市社協、雫石町社協、住田町社協、軽米町社協、一戸町社協、金ヶ崎町社協

〔山形〕山形県社協、鶴岡市社協、酒田市社協、遊佐町社協

〔宮城〕宮城県社協、仙台市社協、石巻市社協、多賀城市社協、東松島市社協、大崎市社協、村田町社協、川崎町社協、丸森町社協、美里町社協、女川町社協

〔福島〕福島県社協、福島市社協、二本松市社協、本宮市社協、桑折町社協、郡山市社協、いわき市社協

(ク) 災害ボランティアセンターへの運営協力団体等

秋田市ボランティア連絡協議会、日本赤十字秋田看護大学・日本赤十字秋田短期大学、一般社団法人秋田青年会議所、NPO法人あきたパートナーシップ、株式会社ナイス、真如苑 SeRV、一般社団法人オープンジャパン、いわてNPO災害支援ネットワーク、一般社団法人 SAVE IWATE、公益社団法人シャンティ国際ボランティア会、一般社団法人ピースボート災害支援センター、サイボウズ株式会社、トヨタ自動車株式会社、NPO法人東北関東大震災支援隊本部 BOND&JUSTICE 他

(ケ) 災害等のボランティア確保の連携・協力に関する協定締結企業等からの支援

秋田銀行、北都銀行、秋田県中部地区郵便局長会、日本赤十字秋田看護大学・日本赤十字秋田短期大学

(コ) 団体等からの助成

- ・秋田県共同募金会 7,399,936円
- ・公益財団法人日本財団 1,000,000円
- ・公益財団法人大和証券財団 1,000,000円

(サ) 企業・団体等からの寄付金資機材の提供

※23、24 ページ「善意銀行の運営」参照

②令和5年11月1日、秋田市から「地域支え合いセンター」の委託を受け、被災世帯への戸別訪問、地域での集いの場づくりへの支援、被災者および地域住民からのニーズに対する関係機関・ボランティア・NPO等のマッチングを行い、災害ボランティアセンターの閉所後も継続して被災世帯を支援した。

(ア) 越冬支援（暖房器具等の支援）

- ・被災により暖房器具が不足している世帯へ、秋田市が無償貸出用に準備した暖房器具や本会およびNPO等の関連団体が確保した暖房器具等を配布し越冬支援を行った。

〔配布機器等〕 ファンヒーター、反射式ストーブ、電気ストーブ、こたつ、電気毛布、電気カーペット、布団など 計 973 台

(イ) 戸別訪問

- ・応急修理制度が未申請の高齢者一人暮らし世帯・高齢者世帯を優先して訪問し、生活再建に向けた困りごとの把握や支援物資の提供等の対応を行った。
- ・訪問件数 延べ1,296件

(ウ) 地域での集いの場づくり（お茶っこ会）

- ・7地区 44回開催 参加者延べ620人
- ・開催エリア 檜山、東、茨島・卸町、旭川、大住、下北手、中通

(エ) ボランティア等のマッチング（令和5年11月1日～令和6年3月31日）

- ・ボランティア活動件数 （延べ） 65件
- ・主な活動内容 家屋修繕後の家具運搬・移動、土砂撤去、片付け、清掃
畳撤去、ゴミまとめ、泥上げ、荷下ろし等
- ・ボランティア活動者数 （延べ） 196人

(4) 災害支援

令和6年能登半島地震に伴う被災地の復興支援として、石川県志賀町災害ボランティアセンターへ職員派遣した。

派遣期間 令和6年2月21日（水）～2月27日（火）

派遣人数 1人

支援内容 災害ボランティアセンター運営補助（ニーズ調査）

社 協 活 動 主 要 記 録

令和	年月日	主 要 事 項	開催場所等
5.	5. 19	正副会長会(令和4年度事業報告および収支決算等)	秋田市老人福祉センター
	25	監事会(令和4年度監査)	〃
6.	2	秋田市地区社会福祉協議会連絡会総会	サンライフ秋田
	6	理事会(令和4年度事業報告および決算認定等)	さきがけホール
	16	評議員選任・解任委員会(評議員の選任について)	秋田市老人福祉センター
	27	定時評議員会(令和4年度事業報告および決算認定等)	さきがけホール
7.	4	秋田市地区社会福祉協議会連絡会視察研修会(～5日)	大仙市・仙北市他
	6	理事会(会長の選任等)	秋田市老人福祉センター
	12	秋田市ボランティア基金管理運営委員会	〃
	14	第1回秋田市地域福祉活動計画策定委員会	〃
	17	秋田市災害ボランティアセンターを開設	〃
	21	明治大学マンドリン倶楽部秋田演奏会実行委員会贈呈式(チケット)	〃
8.	10	正副会長会(大雨災害について)	〃
9.	14	秋田市内社会福祉従事者スポーツ大会(ソフトボール)	向浜四面球場
	25	秋田市内社会福祉従事者スポーツ大会(バレーボール)	CNAアリーナあきた
10.	17	秋田市災害ボランティアセンター閉所式	〃
	25	秋田市社会福祉協議会表彰者審査委員会	サンライフ秋田
	25	市社協・市民児協正副会長懇話会	〃
	29	秋田市民謡連盟贈呈式(寄附金)	北部市民サービスセンター
11.	1	秋田市地域支え合いセンター運営開始	秋田市老人福祉センター
	2	東松島市社会福祉協議会との情報交換会(ストーブ寄贈)	〃
	3	桜雅会歌と踊りのフェスティバル(寄附金)	あきた芸術劇場ミルハス
	10	被災地における民児協活動ならびに民生委員・児童委員への支援にむけた意見交換会(全国民生児童委員連合会)	秋田県社会福祉会館
	24	第2回秋田市地域福祉活動計画策定委員会	秋田市老人福祉センター
12.	1	秋田市社会福祉大会	〃
12.	16	秋田市PTA連合会「一円玉福祉募金」贈呈式	〃
	22	カレンダー贈呈式(くまがい印刷様より)	〃
6.	2. 2	秋田市地域福祉活動研修会	あきた芸術劇場ミルハス
	13	安心キット(救急医療情報キット)事業推進会議	秋田市老人福祉センター
	29	地区社協Aブロック研修会	秋田温泉さとみ
3.	6	地区社協Cブロック研修会	協働大町ビル
3.	8	秋田市総合振興公社贈呈式(車椅子)	秋田市老人福祉センター
	14	正副会長会(補正予算、令和5年度事業計画および予算等)	〃

令和 年月日	主 要 事 項	開催場所等
21	理事会(補正予算、令和5年度事業計画および予算等)	秋田市老人福祉センター
29	評議員会(補正予算、令和5年度事業計画および予算等)	さきがけホール
31	河辺デイサービスセンター事業廃止	